



イーレックス株式会社[9517]

第三者割当による第3回新株予約権
発行に関する補足説明資料

2020年9月7日

2030ビジョン：再生可能エネルギーをコアに 電力新時代の先駆者になる

第1ステージ

2020.3期~2022.3期

コアビジネスの 強化と展開

売上1,200億円以上('22.3期)

- ・バイオマス5基体制(FIT)
- ・大型バイオマス発電所の準備
- ・小売、新子会社の発足
- ・カンボジア水力プロジェクト

第2ステージ

2023.3期~2025.3期

大型バイオマス への挑戦

売上2,000億円以上('25.3期)

- ・大型バイオマス発電所の稼働
- ・再エネ販売本格化
- ・燃料事業のグローバル展開
- ・海外での再エネ発電事業拡大

(上流)

燃料事業

- 商社調達 + 自社調達 シンガポールに拠点開設
- 現地とのJV設立、現地プランテーションと直接取引
- 長期契約を主体に、短期契約とスポットで補完

商社
調達

燃料
外販

発電事業

- 土佐/佐伯/大船渡(稼働中・145MW)
- 豊前(稼働中・75MW)
- 沖縄(建設中・49MW)、坂出(アセス中・75MW)

外部販売

JEPX

トレーディング事業

- 電力調達 他社電源、JEPXからの調達
- 全体需給バランスを調整 市場売買を活用

小売事業

東電EPを中核に
事業拡大

“低炭素”をキー
として販売を拡大

高圧

低圧

EverGreen

東電EPとのJV

M&Aによる拡大

他社電源

低炭素社会への貢献

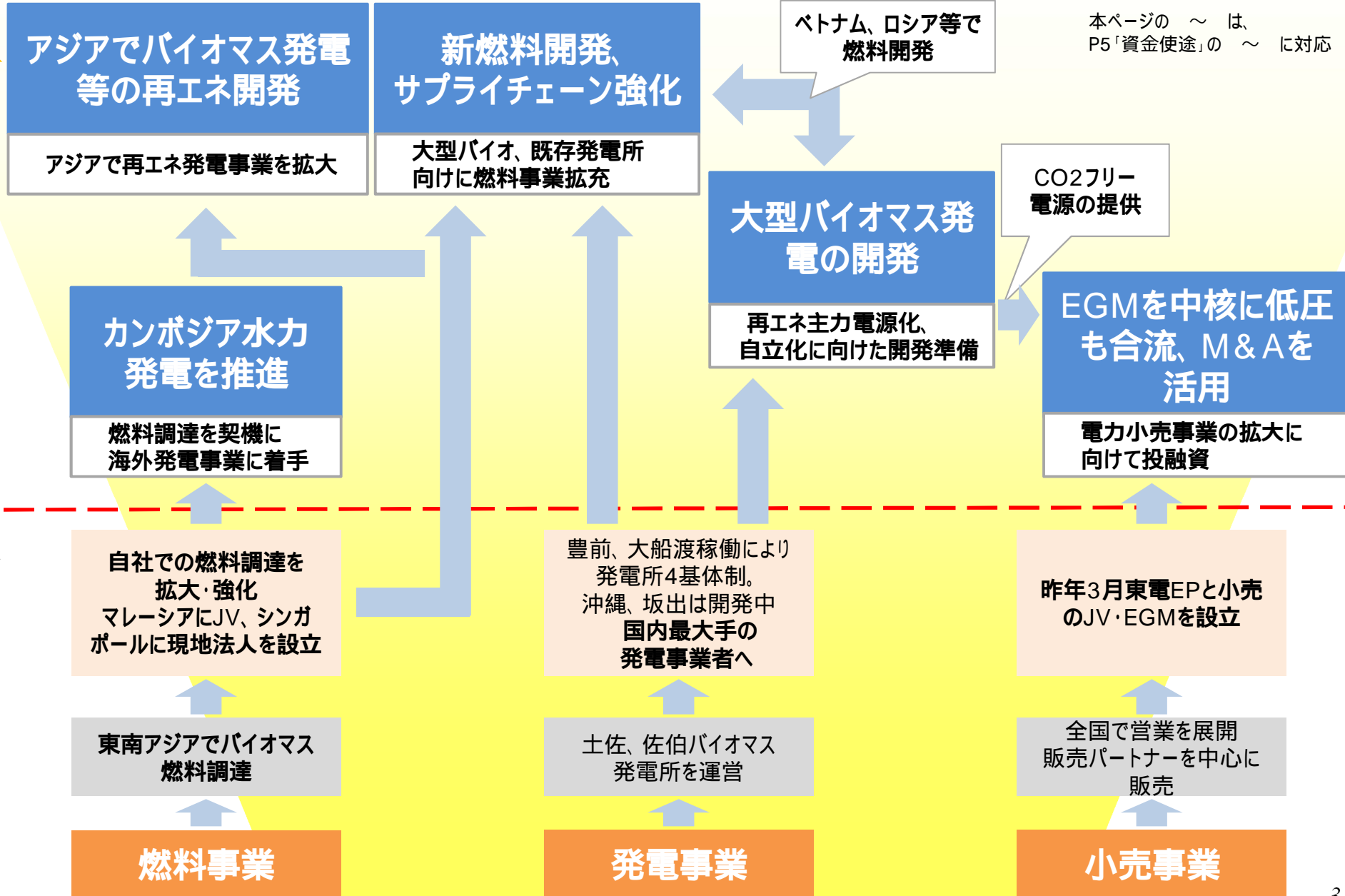
(下流)

次の成長に向けて 再生可能エネルギーをグローバルで開発

本ページの ~ は、
P5「資金使途」の ~ に対応

次の成長に向けた取り組み

これまでの取り組み



株価動向によらず、最大発行株式数は8,000,000株（2020年3月31日の総議決権数に対し15.67%）に固定。

	第3回新株予約権
割当日	2020年9月23日（水）
新株予約権個数	80,000個
潜在株式数（最大希薄化率）	8,000,000株 （2020年3月31日の総議決権数に対し15.67%）
資金調達額	10,163,240,000円（差引手取概算額）
行使期間	2020年9月24日（木）～2022年9月30日（金）
割当予定先及び割当方法	SMBC日興証券及びみずほ証券に第三者割当
当初行使価額	1,268円
上限行使価額	なし
行使価額修正	行使請求の効力発生日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の92%に相当する金額に修正
下限行使価額	888円（発行決議日前営業日終値×70%）
その他	行使許可条項、取得条項、譲渡制限

【目的】

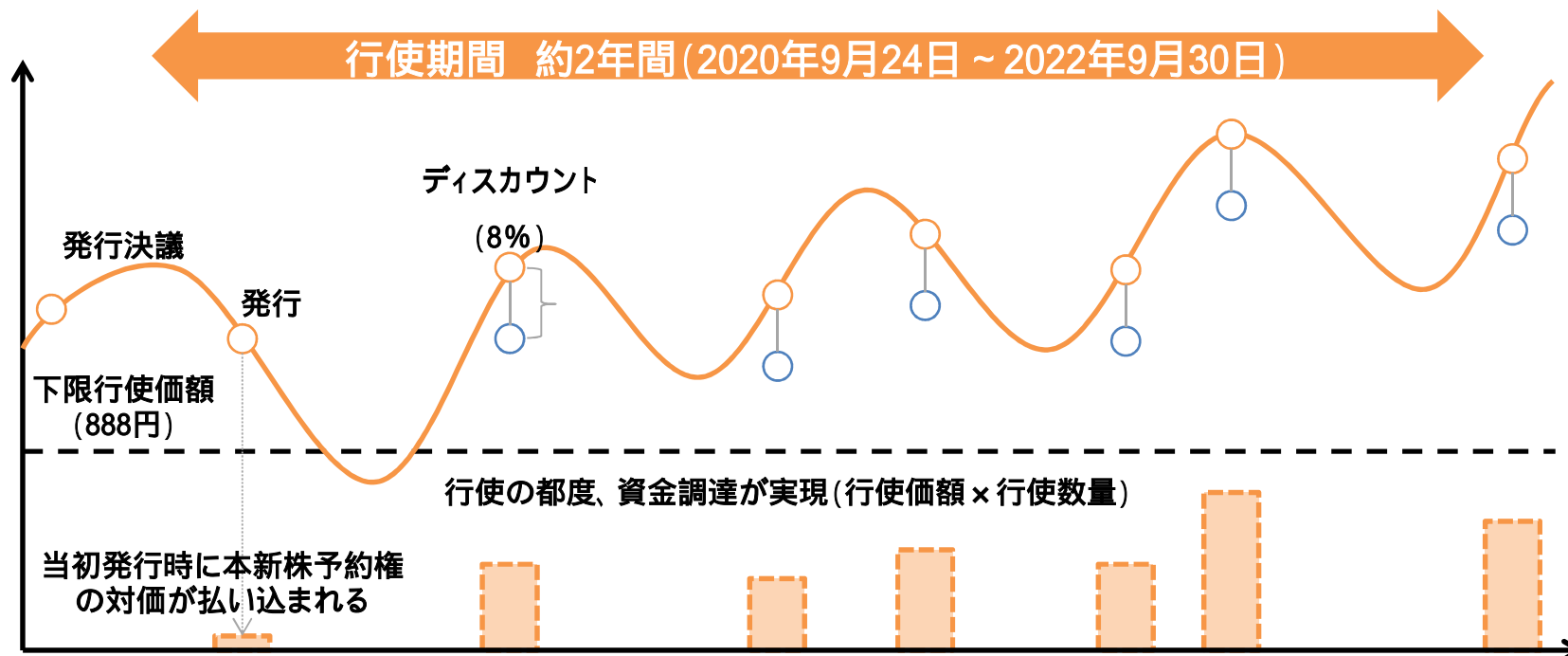
国内、及び海外における再生可能エネルギー事業の中長期的な事業規模の拡大と収益の増大
電力小売事業の拡充
安定的かつ強固な事業基盤の構築
財務体質の一層の強化、財務柔軟性の向上

【資金使途】

具体的な資金使途	金額（円）	支出予定時期
カンボジアの水力発電における投融資資金	2,200,000,000	2020年9月～2023年12月
大型バイオマス発電所建設に係る開発資金	2,120,000,000	2020年9月～2022年3月
電力小売事業におけるM&Aの投資資金に係る借入金の返済	3,000,000,000	2020年9月～2021年3月
将来の燃料事業及び発電事業における投融資資金	2,843,240,000	2020年12月～2023年3月

本新株予約権による資金調達の仕組み

- ✓ 割当先（SMBC日興証券及びみずほ証券）は、市場動向・投資家動向を踏まえた上で行使請求を行うことができ、当該行使に係る株式の対価として代金（行使価額）を払い込む（**権利行使により徐々に資金調達が実現**）
 - 行使価額は、行使請求の効力発生日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の92%に相当する価格に修正される（行使価額修正条項）
 - 修正後の価額が下限行使価額を下回った場合、下限行使価額が行使価額となる（本新株予約権の行使は想定されない）
- ✓ 割当先（SMBC日興証券及びみずほ証券）は、本新株予約権の行使によって得た株式を株価動向等を勘案し適宜売却していく方針



(注)：上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移することをお約束するものではありません。

NO.	質問	回答
1	新株予約権とは何ですか？	<ul style="list-style-type: none">・新株予約権とは、発行会社に対してそれを行行使することにより、当該発行会社の株式の交付を受けることができる権利です。・新株予約権の割当先であるSMBC日興証券及びみずほ証券が当該権利を行行使することで、当社は行使価額の相当の金銭の払込みを受け、SMBC日興証券及びみずほ証券に当社普通株式を交付します。これにより資金調達を行います。
2	資金調達方法の概要は？	<ul style="list-style-type: none">・本新株予約権をSMBC日興証券及びみずほ証券に割当、両社が当該新株予約権を行行使することで、資金調達されるものです。行使価額は、行使請求の直前取引日の当社普通株式終値の92%に相当する金額に修正されます。・本新株予約権には下限行使価額が設定されています。下限行使価額よりも低い行使価額で本新株予約権の行使がされることはありません。
3	新株予約権を選択した理由(メリット)は何ですか？	<ul style="list-style-type: none">・行使価額が各行使請求日における直前取引日の当社普通株式終値の92%に相当する金額に修正され、上限行使価額の設定がないため、株価上昇時には調達金額が増大するメリットを享受できること。・行使許可期間の設定を通じて一時に大幅な希薄化が生じることを抑制できること。・資金調達が不要になった場合は、残存する新株予約権を取得できること。
4	デメリットは何ですか？	<ul style="list-style-type: none">・割当先による権利行使の進捗に応じて、行使完了までには一定の期間が必要となること。・株価が下落した場合、株価に連動して行使時の払込価額が下方に修正されるため、実際の調達額が当初の予定額を下回る可能性があること。・株価が下限行使価額を下回って推移した場合、行使が進まず資金調達ができない可能性があること。
5	なぜ、公募増資や銀行借入等ではなく、新株予約権を選択したのですか？	<ul style="list-style-type: none">・他の資金調達手法と比較検討を行った結果、公募増資は相当の準備期間を要し、即時に希薄化が生じること、新株予約権の発行による調達は借入等と異なり財務健全性を保ったまま機動的な資金調達が可能であること、かつ行使許可条項を採用することで希薄化についても一定程度コントロールが可能であること等を理由として、本資金調達方法を選択しました。

NO.	質問	回答
6	調達予定金額はいくらですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・発行諸費用を控除した手取概算額の合計は10,163,240,000円を想定しております。但し、この金額は、当初行使価額で全ての新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。行使の進捗状況や行使価額の修正等に応じて増減いたします。
7	希薄化の規模はどの程度ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・本新株予約権の目的である普通株式数は8,000,000株で一定であり、発行済株式数(2020年3月末日時点)をベースとした最大希薄化率は15.67%です。
8	資金使途は？	<ul style="list-style-type: none"> ・P3に示します通り、次への成長への取り組みを考えており、それを踏まえてP5で示す4つの事業に資金を充当したいと考えております。
9	今回の新株予約権の下限行使価額の決定理由を教えてください	<ul style="list-style-type: none"> ・下限行使価額は発行決議日の直前取引日の終値の70%に相当する金額です。 ・70%の根拠は割当予定先であるSMBC日興証券及びみずほ証券がアレンジする案件におけるスタンダードな水準であり、今回の新株予約権が全て行使されたと仮定した場合15.67%(議決権ベース)の希薄化となることから、株価下落時の希薄化のデメリットを一定程度に制限できるものと考えております。
10	今回の新株予約権の行使価額の修正及び行使状況を確認する方法はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ある月に権利行使が行われた場合には、翌月月初めに当該月の月間行使状況を開示いたします。また、同月中の行使累計新株予約権が第3回号については8,000個(発行新株予約権である80,000個の10%)以上、となった場合等にもそれぞれ行使状況を開示いたします。 ・割当予定先は、同社及び共同保有者の株券等保有割合が5%を超えた場合には大量保有報告書を提出し、以降株券等保有割合が1%以上増減する等の変動が生じる度に変更報告書を提出いたします。これらの書類を読むことにより、その時点における同社が保有する新株予約権の数量、潜在株数を含めた保有株数を確認する事が出来ます。なお、当社が行使許可を行った場合等には、速やかにその内容を開示する予定です。

NO.	質問	回答
11	貸株・空売り等が行われるのか？	・本新株予約権の権利行使による取得する当社株式の数量内で行う売付け等以外の本件に関わる空売りを目的として、当社株式の借株は行わないことを、割当予定先であるSMBC日興証券及びみずほ証券から確認しております。
12	割当先をSMBC日興証券とみずほ証券にした理由は？	下記を総合的に勘案し選定しております。 ・当社ニーズに合致している本資金調達方法の提案を行ったこと ・今回の調達方法を含め様々なファイナンスにおいて多くの実績を有していること ・国内外に厚い投資家基盤を有しており本新株予約権の行使により交付される普通株式の円滑な売却が期待されること ・従前より資本政策を始めとする提案及び協議を行っており、当社の経営及び事業内容に対する理解が深いこと
13	今期の業績に与える影響はありますか？	・今回の資金調達による2021年3月期の当社業績に与える影響は軽微です。

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

erex

ENERGY RESOURCE EXCHANGE